

11 接続期カリキュラム（5歳児10月～小学1年生5月）

芦屋市 接続期カリキュラム

		5 歳 児					1 年 生				
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分の力を発揮しながら、友達とつながりを深め、試したり工夫したりする。 ルールを理解して、集団の楽しさを味わう。 感じたこと、考えたことを話し合い、遊びを進める楽しさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と共通の目的をもって取り組み、達成感や満足感を味わう。 目標に向かって意欲的に取り組み、役割を分担したり、協力したりしてやり遂げる充実感を味わう。 教室に向けて期待感をもって生活する。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊んで呼ばれたリプリントの持ち帰り方、出席ノート等の出し方、道具の後始末の仕方など、小学校での生活を意識した活動を取り入れる。 保育者や友達、地域の方々に進んで挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中で、きちんとたたむ習慣を身に付ける。 立位で衣服の着脱や靴の脱ぎ履きをする。 飼育当番等でほうきやちりとり、雑巾の使い方を身に付ける。 好き嫌いをなくし、一定時間内に食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校のルールを守ったり、安全な生活の仕方を知らしめながら、学校生活に慣れ、楽しく意欲的に学校生活を送れるようにする。(生) 授業時間と休み時間があることがわかり、時間を守って生活する。(生) 学校の施設の様子やその安全を守っている人々や友達に関心をもち、楽しく学校生活を送る。(生) 進んで運動に取り組み、運動の順番や決まりを守り、場所の安全を確かめて運動することができる。(体) 固定遊具や器械、器具などを使ったりいろいろな遊び方を楽しんだり、友達と競争したりして、みんなで仲良く運動する楽しさを味わう。(体) 運動のしかたや競争のしかたを知り、友達の良い動きを見つけてすることができる。(体) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活に慣れ、安心できるとともに、楽しく学習しようとする意欲をもてるようにする。 (生活科)学校の施設の様子や、学校を支えている人々や友達のことを分かって、楽しく安心して遊びや生活ができるようになる。 (国語科)自分が伝えたいことを、みんなの前で丁寧な言葉遣いで話すことができるようになる。 (算数科)1から10までのものの個数を数えることができるようになる。 (音楽科)音楽に合わせて体を動かしながら、友達と遊ぶことができるようになる。 (図画工作科)自分の大好きなものや伝えたい出来事などを、クレヨン・パスで描くことができるようになる。 (体育科)固定遊具で遊んだり、簡単なゲームで遊んだりすることができるようになる。 (特別活動・学活)学校の友達と仲良く、学校生活に適切に対応することができるようになる。 					
生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身の回りの始末は自分でする。 使ったものはきちんと片付ける。 保育者や友達、地域の方々に進んで挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の見通しをもって、自分で考えて、自分で行動する。 自分の役割を果たし、やり遂げる充実感を味わう。 小学生になる期待や自覚を持ち、自信を持って行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通ルールやマナーを守って道を歩く。 先生の指示がわかり、自ら行動する。 積極的に体を動かし、運動遊びに挑戦。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材に触れ、工夫して描いたり作ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> クレヨンやパスでかくことを楽しみながら基本的な扱いを身に付けたり、はさみの扱いに慣れ、紙の切り方を工夫したりしながら表現することを楽しむ。(図) 正しい鉛筆の持ち方を身に付ける。 相手によくわかるように、自分の名前などに書くことができる。(国) 友達といっしょに歌ったり体を動かしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽に対する興味・関心をもつ。(音) 音楽を聴いたり、体を動かしたりしながら、拍の流れを感じ取ることができる。(音) 	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。(国) 音節と文字の関係に気付くことができる。(国) 主語と述語の関係に注意することができる。(国) 相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話すことができる。(国) 互いの話を集中して聞き、話題に沿ってやり取りすることができる。(国) 場面に合わせた声の大きさを話すことができる。 進んで運動に取り組み、運動の順番や決まりを守り、場所の安全を確かめて運動することができる。(体) 固定遊具や器械、器具などを使ったりいろいろな遊び方を楽しんだり、友達と競争したりして、みんなで仲良く運動する楽しさを味わう。(体) 運動のしかたや競争のしかたを知り、友達の良い動きを見つけてすることができる。(体) 学校の施設の様子および学校生活を支えている人々や友達に関心をもち、楽しく学校生活を送る。(生) 通学路の様子やその安全を守っている人々に関心をもち、安全に登下校する。(生) 					
自己を調整しようとする力	<ul style="list-style-type: none"> 善いことや悪いことがわかり、考えながら行動する。 いろいろな遊びの中で動機やトラブルを乗り越えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の見通しをもって、自分で考えて、自分で行動する。 自分の役割を果たし、やり遂げる充実感を味わう。 小学生になる期待や自覚を持ち、自信を持って行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通ルールやマナーを守って道を歩く。 先生の指示がわかり、自ら行動する。 積極的に体を動かし、運動遊びに挑戦。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材に触れ、工夫して描いたり作ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> クレヨンやパスでかくことを楽しみながら基本的な扱いを身に付けたり、はさみの扱いに慣れ、紙の切り方を工夫したりしながら表現することを楽しむ。(図) 正しい鉛筆の持ち方を身に付ける。 相手によくわかるように、自分の名前などに書くことができる。(国) 友達といっしょに歌ったり体を動かしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽に対する興味・関心をもつ。(音) 音楽を聴いたり、体を動かしたりしながら、拍の流れを感じ取ることができる。(音) 	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。(国) 音節と文字の関係に気付くことができる。(国) 主語と述語の関係に注意することができる。(国) 相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話すことができる。(国) 互いの話を集中して聞き、話題に沿ってやり取りすることができる。(国) 場面に合わせた声の大きさを話すことができる。 進んで運動に取り組み、運動の順番や決まりを守り、場所の安全を確かめて運動することができる。(体) 固定遊具や器械、器具などを使ったりいろいろな遊び方を楽しんだり、友達と競争したりして、みんなで仲良く運動する楽しさを味わう。(体) 運動のしかたや競争のしかたを知り、友達の良い動きを見つけてすることができる。(体) 学校の施設の様子および学校生活を支えている人々や友達に関心をもち、楽しく学校生活を送る。(生) 通学路の様子やその安全を守っている人々に関心をもち、安全に登下校する。(生) 					
考えようとする力	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことやイメージしたことを体・音楽・造形などで表現することを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の見通しをもって、自分で考えて、自分で行動する。 自分の役割を果たし、やり遂げる充実感を味わう。 小学生になる期待や自覚を持ち、自信を持って行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通ルールやマナーを守って道を歩く。 先生の指示がわかり、自ら行動する。 積極的に体を動かし、運動遊びに挑戦。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材に触れ、工夫して描いたり作ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> クレヨンやパスでかくことを楽しみながら基本的な扱いを身に付けたり、はさみの扱いに慣れ、紙の切り方を工夫したりしながら表現することを楽しむ。(図) 正しい鉛筆の持ち方を身に付ける。 相手によくわかるように、自分の名前などに書くことができる。(国) 友達といっしょに歌ったり体を動かしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽に対する興味・関心をもつ。(音) 音楽を聴いたり、体を動かしたりしながら、拍の流れを感じ取ることができる。(音) 	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。(国) 音節と文字の関係に気付くことができる。(国) 主語と述語の関係に注意することができる。(国) 相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話すことができる。(国) 互いの話を集中して聞き、話題に沿ってやり取りすることができる。(国) 場面に合わせた声の大きさを話すことができる。 進んで運動に取り組み、運動の順番や決まりを守り、場所の安全を確かめて運動することができる。(体) 固定遊具や器械、器具などを使ったりいろいろな遊び方を楽しんだり、友達と競争したりして、みんなで仲良く運動する楽しさを味わう。(体) 運動のしかたや競争のしかたを知り、友達の良い動きを見つけてすることができる。(体) 学校の施設の様子および学校生活を支えている人々や友達に関心をもち、楽しく学校生活を送る。(生) 通学路の様子やその安全を守っている人々に関心をもち、安全に登下校する。(生) 					
伝え合おうとする力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや経験したことを分かって話し出す。 保育者の話や、友達の意見を最後まで聞く。 困ったことやしてほしいことを具体的に自分で話す。 保育者が全体に話したことを自分のこととして受け止める。 友達と互いの思いや考えを認め合いながら、自主的に遊びを進め、充実感を味わう。 友達とルールを考えながら、力を合わせたり、競い合ったりする。 異年齢と関わり、思いやりや親しみをもち、うまくいかないことが起こった時に自分たちで解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の見通しをもって、自分で考えて、自分で行動する。 自分の役割を果たし、やり遂げる充実感を味わう。 小学生になる期待や自覚を持ち、自信を持って行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通ルールやマナーを守って道を歩く。 先生の指示がわかり、自ら行動する。 積極的に体を動かし、運動遊びに挑戦。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材に触れ、工夫して描いたり作ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> クレヨンやパスでかくことを楽しみながら基本的な扱いを身に付けたり、はさみの扱いに慣れ、紙の切り方を工夫したりしながら表現することを楽しむ。(図) 正しい鉛筆の持ち方を身に付ける。 相手によくわかるように、自分の名前などに書くことができる。(国) 友達といっしょに歌ったり体を動かしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽に対する興味・関心をもつ。(音) 音楽を聴いたり、体を動かしたりしながら、拍の流れを感じ取ることができる。(音) 	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。(国) 音節と文字の関係に気付くことができる。(国) 主語と述語の関係に注意することができる。(国) 相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話すことができる。(国) 互いの話を集中して聞き、話題に沿ってやり取りすることができる。(国) 場面に合わせた声の大きさを話すことができる。 進んで運動に取り組み、運動の順番や決まりを守り、場所の安全を確かめて運動することができる。(体) 固定遊具や器械、器具などを使ったりいろいろな遊び方を楽しんだり、友達と競争したりして、みんなで仲良く運動する楽しさを味わう。(体) 運動のしかたや競争のしかたを知り、友達の良い動きを見つけてすることができる。(体) 学校の施設の様子および学校生活を支えている人々や友達に関心をもち、楽しく学校生活を送る。(生) 通学路の様子やその安全を守っている人々に関心をもち、安全に登下校する。(生) 					

12 実践事例

【研究グループ】

芦屋市立精道小学校・芦屋市立精道幼稚園・芦屋市立精道保育所
認定こども園愛光幼稚園・芦屋こぼとぽっぽ保育園

事例1 飼育当番「Bくんばかりずるい！」

【ねらい】

○飼育当番を通して、互いの思いを出し合いながら、葛藤やトラブルを乗り越えようとする。

【環境構成・保育内容構成の工夫】

○幼児が友達の気持ちを大切にできるよう、保育者は中立の立場から声を掛けて気付かせるようにする。

○幼児自らが思いを伝え合い、わかり合えるように考える機会をもつ。

○グループで一緒に解決したり活動したりできるように、皆で話し合う場を設定する。

幼児の姿	保育者の援助
<p>ウサギの飼育当番活動で掃除をする際に、A児とB児がホースの取り合いをする。</p> <p>A児：「B君ばかりずるい。僕がやる。」</p> <p>B児：ホースを離さない。「何。」とA児に聞く。</p> <p>A児：「いつもB君ホースやってる。僕もやりたい。」</p> <p>B児：「僕がする。」と活動をすすめようとする。</p> <p>一旦活動を止めて周りの幼児も一緒に話し合う。</p> <p>他児：「確かにB君いつもホースしているね。」</p> <p>「ブラシだって楽しいのに。」など、口々に話す。</p> <p>B児：「しょうがないなあ。」と言ってA児にホースを渡し、ブラシを取って掃除を始める。</p> <p>A児：暫くすると、「B君どうぞ。」とB児にホースを渡す。</p> <p>B児：「ありがとう。」と言ってホースで水を流し始めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 幼児の様子を見守る。 • これまでの当番活動で、B児がよくホースを使っていたことを保育者も知っていた。A児も自分がしたいという思いを出したことは良い機会だと思い、「A君がお話しているよ。」と声を掛け、B児が相手の思いに気付けるようにする。 • グループの他の幼児にも声を掛け、他児の話がB児の気持ちを切り替えるきっかけになるように皆で話し合う場を設定する。 • 友達の話がわかり、自分の気持ちに折り合いをつけ納得して活動を再開したことを認める。

【接続期を意識して配慮するポイント】

○幼児同士をつなぎ自分の力を発揮したり、自己抑制をしたりする機会になる環境を構成していく。

- 互いの思いが食い違う場面を保育者が見逃さずに捉える。
- 幼児同士のかかわりを見守りつつ、話し合いの場につなげる。
- 話し合う経験を積み重ね、自分たちで主体的に話し合いができるようにする。



【児童期の学力の3つの要素】

課題解決のために必要な思考力・判断力・表現力等



事例2 積木遊び「お城づくりって楽しいね」

【ねらい】

○友達とアイデアを出し合い、話し合いながら一つのものを作ることを通して、自分の役割を果たし、やり遂げる充実感を味わう。

【環境構成・保育内容構成の工夫】

- イメージが膨らむように色々な形の積み木や素材を準備する。
- 友達と話し合いがしやすいようにグループの人数を5人にする。
- ねらいである「友達と一緒に作ること」を約束として伝えておく。

幼児の姿	保育者の援助
<p>A児「階段作ろう。上に王女様と王様がいるよ。」 B児「階段の下は扉ね。横に門番がいて王女様と王様を守ろう。」 お城のイメージを描きながら作っている。 C児「ベット作ったら。」「椅子は。」 C児は友達に提案するが、自分からは作ろうとしない。</p> <p>保育者は、C児の考えたことを他児に聞こえるように認める。</p> <p>B児「Cちゃん、王様の椅子作って。」 C児はすぐに椅子を作り出す。 A児「ここお星さまが見える所ね。」 B児「雲の上まで見える事にしよう。」 C児「そうしよう。」 C児も、お城の中に自分がある事をイメージして作っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・積み木を運びながらお城づくりを自分たちで進めている姿を見守る。 ・自分の考えを伝えたり、相手の思いを受け止めたりしながら作っていることを認め支える。 ・C児は、日頃友達に言われてから行動することが多いため、C児の考えたことが遊びに生かされる場をつくりたいと願い、C児を認める場をつくる。 ・自分の提案が受け入れられて嬉しいのだと感じ、様子を見守る。 ・はっきりした口調で、友達に話す姿が見られ、C児の嬉しい気持ちに共感する。

【接続期を意識して配慮するポイント】

- 少人数のグループで一つのことに取り組むことによって、自分の役割を見つけられるように援助する。
- 自分の役割を果たし、友達と一緒に作りあげ、満足感を味わうことを積み重ねていく。



【児童期の学力の3つの要素】

主体的に学習に取り組む態度



事例3 生活科「学校でのルールを知ろう ～〇〇の仕方を覚えよう～」

【ねらい】

○学校のルールを守ったり，安全な生活の仕方を知ったりしながら楽しく学校生活を送れるようになる。

【環境構成・教育内容構成の工夫】

○児童が学校生活を送るにあたって，基本的な生活習慣やマナーを学ぶために教材提示装置などを活用し，視覚的にとらえたり，かけ声やキャッチフレーズを使って覚えやすいように工夫したりする。

児童の姿	教師の支援
○体操服，給食着の着替え方，たたみ方などを知る。	・ほうきの持ち方，掃き方，雑巾の絞り方，たたみ方，床の拭き方を写真に撮って表示する。
○掃除の仕方を知る。	・給食当番の仕事内容の説明，配膳の仕方，給食中のきまり，食事のマナーを一覧表にまとめ，教室に掲示する。
○給食の準備，後片付け方を知る。	・スリッパの使い方・並べ方，便器での立ち・座り位置の確認，待合室での待ち方について，それぞれの場所に写真等で掲示する。
○トイレの使い方を知る。	・唱え歌で，日常化できるように工夫する。
○唱え歌に合わせて椅子に座る。	「あしはぺったん，せなかはピン。おなかとせなかにぐうひとつ。ひだりておいてさあ書こう。」

【接続期を意識して配慮するポイント】

○就学前施設によって，児童の経験してきたことが違うことを踏まえるとともに，時代背景や児童の実態を考慮し，より細やかな指導が必要である。

○小学校の生活習慣をわかりやすくするために視覚的な支援をする。また，興味をもちやすくするために遊びの要素を取り入れる。



【児童期の学力の3つの要素】

基礎的，基本的な知識・技能

【給食着，こんな風にたたんでいます】

